

授業科目名・形態	基礎看護技術論Ⅰ（日常生活援助）講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	小畑千春・黒澤繭子・小玉光子 千葉孝子・伊藤洋介	実務経験の有無	有	開講期	1年前期

【授業の主題】

看護技術の対象は人間であり、提供する看護者は、その技術を受ける人の反応全体を捉え、個々の状況に応じて変化させる柔軟な対応を必要とする。看護技術の実施にあたって、はじめに各看護技術の基礎的な知識と標準的な方法を習得する。この授業では、看護師業務の「療養上の世話」の内容・援助方法について学習する。

【到達目標】

1. 日常生活の援助に関する基礎知識を学び、援助技術一つひとつの基礎となる要素とその根拠を理解できる。
2. 日常生活の援助（快適な環境整備、食事、排泄、活動、休息、清潔など）に対する援助方法を理解できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 看護技術とは何か 看護技術の特徴・基盤（小畑）
- 第2回 環境調整技術（小玉）
- 第3回 活動・休息援助技術（1）体位・体位変換（小畑）
- 第4回 活動・休息援助技術（2）移動・移乗・移送 体位保持（伊藤）
- 第5回 活動・休息援助技術（3）睡眠と休息（小畑）
- 第6回 清潔・衣生活援助技術（1）清潔の援助（黒澤）
- 第7回 清潔・衣生活援助技術（2）衣生活の援助（黒澤）
- 第8回 清潔・衣生活援助技術（3）全身清拭演習（黒澤）
- 第9回 清潔・衣生活援助技術（4）洗髪演習（黒澤）
- 第10回 排泄援助技術（1）自然排尿・排便の介助（千葉）
- 第11回 排泄援助技術（2）導尿・排便を促す援助（千葉）
- 第12回 ヘルスアセスメント（1）バイタルサイン（千葉）
- 第13回 ヘルスアセスメント（2）身体計測（千葉）
- 第14回 感染防止の技術（1）（小畑）
- 第15回 まとめ（小畑）

【授業実施方法】

講義と演習を組み合わせて行う。

【授業準備】

授業内容に関連した教科書の章を事前に読み、授業にのぞんでください。また、授業で配布する資料や教科書で復習し、理解を深めてください。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術演習Ⅰ

【教科書等】

茂野 香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② 第18版 医学書院 2021
任 和子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 第18版 医学書院 2021

【参考文献】

医療情報科学研究書 編：看護技術がみえる vol. 1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア 2018
医療情報科学研究書 編：看護技術がみえる vol. 2 基礎看護技術 第1版 メディックメディア 2013
吉田みつ子、本庄恵子編著：新訂版 写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス インターメディカ 2020

【成績評価方法】

筆記試験（90%）、授業態度・課題レポート（10%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療法人の病院で看護職として患者への看護業務の実践、業務基準に関する指導や教育の経験があります。そこで経験した看護実践をもとに、看護技術の原理・原則の必要性等を学生に伝えたいと思います。

【学生へのメッセージ】

看護技術の基本となりますので、予習・復習をしっかりと行ってください。患者さんに安全で安楽な看護技術を提供できるよう知識・技術を習得してください。教科書の付録の動画や、図書館にある視覚教材を積極的に活用しましょう。